

第5章

「地球規模で考え、
足もとから行動する」





環境と持続可能な開発において、重要でない行動はない。たとえごく小さな行動でも私たちの未来のために大切である。そして、それは子供たちの未来でもある。オリンピックと同じく、参加することに意義があるのだ。

このガイドブックは、すべてのオリンピックファミリー（一般選手、トップ選手、観客、クラブのリーダー、用具メーカー、メディア、競技団体、主催者等）が日々のスポーツ活動の中で今すぐ実行できる、環境保護のための基本原則や持続可能な開発に関する多くの提案を含んでいる。

どこからスタートするのか？

足もとから行動することである。そして、簡単にできることから始めることだ。もう一度、あなたがプレーする競技の章を読み直し、一番簡単だと感じるアドバイスに従うことである。先進国の人なら、明日から練習に出かけるときは、車ではなく自転車や公共交通機関を使う。発展途上国に住むアスリートなら、自分の時間の何分かをピッチやスタジアムに落ちている目障りなビニール袋を拾うのに使う。競技団体のリーダーなら、リサイクルペーパーで両面コピーをとるなど、現在の状態から一歩踏み出して欲しい。

いかに継続するか？

グローバルに考えることである。つまり自分の行動を他人に伝えたり、説明したりすることによって、広く波及させることができる。最初は、所属クラブの友達や家族、隣人に、持続可能な開発に貢献することや環境保護をスポーツの情熱と結びつけることが、どれだけ心地よいかを話す。行動するということがいかに簡単かを語りかける。自分が環境活動を続けてきた理由を説明する。このガイドブックの前半を読み直し、いかに自動車による大気汚染が地球温暖化を進めているか、そして競技場の目障りなごみもたらす健康被害について伝える。また、環境によりコピー機の使い方を率先して実行することで、再生不可能な資源の保全を推し進めることができる。

スポーツと同じく、環境保護と持続可能な開発への道のりには努力が不可欠である。しかし、一番大切なのはその行動を楽しく行うことだ。人々に義務感を感じさせるより、納得させるのだ！結局、厳しいルールがあったとしても説明不足であれば納得されず、実行に結びつかない。熱意と信念こそが地球環境にとって最も重要なものなのだ。

さらに推し進めるには？

個人のエネルギーを、クラブの仲間やチームメンバーや対戦相手とも、環境や持続可能な開発のために共有することである。植林する。井戸を掘る。トイレを設置する。荒れた土地を再生させる。海岸を清掃する。ごみを集める。自分が行っている競技に障がい者が参加できるよう促す。クラブの門戸をあなたの近くに住む若者や女性、他の社会的組織に開放する。環境保護グループの活動に参加する。当局に持続可能な開発のために責任を持つよう圧力をかける。あなたの活動をマスメディアに知らせる。

あなたの関わるスポーツを、あなたの子供たちにとって住みやすい世界をつくるための手段としなさい。それはとても簡単なこと——あなたがそうしたいと思えばいい。

